

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 幼児教育課

会議の名称	第1回 茅野市保育所運営審議会		
開催日時	平成27年7月13日(月) 午後6時55分～8時30分		
開催場所	茅野市役所 7階 701会議室		
出席者	※委員出席：小林宏会長、名取忠義副会長、上條英男委員、竹村博委員、 笹岡八重子委員、村山恵子委員、小林智委員、小林俊恵委員 ※市側出席者：柳平市長、牛山こども部長、牛山幼児教育課長、松沢施設 整備係長、五味幼児教育係長、両角園長		
欠席者	中島伸和委員、矢島晃洋委員		
公開・非公開の別	公開	傍聴者の数	2 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局(牛山課長)	1 開会		
柳平市長	2 委嘱書授与 柳平市長は各委員に委嘱書を授与した。		
柳平市長	3 あいさつ 委員の皆様には、日頃よりそれぞれのお立場で保育行政にご尽力をいただき感謝とお礼を申し上げます。 本年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートした。この制度は保育と幼児教育を併せ持つ事業として、新しい時代を生きていく子どもを育て上げていく制度であると理解している。茅野市においても新制度を施行するにあたり、様々な施策を展開してきた。保護者の皆様に制度の説明が充分行き届かないところや誤解を招くことのあったことについては、反省するところもあるが、順調にスタートしたと思っている。これからも先を見据えより確かな子育て環境作りに取り組んでいきたいと思っている。委員の皆様においても、忌憚のないご意見をいただきたい。		
	4 自己紹介 委員、事務局全員自己紹介を行った。		
	5 正副会長の選出 事務局が、保育所運営審議会規定第4条の規定により、会長、副会長を互選により選出してほしい旨の提案を行い、委員の互選により会長に小林宏委員、副会長に名取忠義委員を選出した。 小林会長、及び名取副会長は、就任のあいさつを行った後に、小林会長は議長に就任した。		
事務局	6 協議・説明事項 (1) 審議会等の会議の公開について		

	<p>五味係長は、本日開催される保育所運営審議会について、資料No.1の「審議会等の会議の公開について」の資料に基づき公開の対象となる旨を説明した。</p>
議長	<p>議長は、会議の公開について一同に図ったところ全員異議なくこれを了承した。</p>
事務局	<p>(2) 保育園の運営状況について</p> <p>五味係長は、保育園の運営状況について、資料No.2を簡潔に説明した。</p> <p>ご意見ご質問はありますか。</p>
委員	<p>広域入所で他市町村の保育所に通っているお子さんや、保育園幼稚園等に通っていないお子さんもいると思うが、小学校側は来入児としてそのようなお子さんを把握することがむずかしいと思うが、どのように連携しているか、また把握するシステムはあるのか。</p>
事務局	<p>5歳児は約9割が保育園、1割が幼稚園に通っており、ほぼ全員が何等かの施設に通っていると考えている。学校教育課で住所や年齢の要件でリストを作成し確認を行い漏れのないようにしている。</p>
委員	<p>小学校の運動会では来入児の旗拾いを行うが、春に運動会を行う場合、4月から6月の間に把握できないことが多く通知が出せないことがある。対策の1つとして幼保小連携の中で把握ができるとトラブルも少なくなるのではないかと考えている。</p>
事務局	<p>茅野市の小学校でも春に運動会を行うところはあるが、幼保小連携の中で在園児の対応については、漏れのないように行っている。例えば市内保育園のうち、泉野保育園は延長保育を実施していないため、必要なお子さんは、玉川保育園などの他園に通っている。この場合においても年度当初に全校の行事予定が把握できるため、漏れのない対応ができるように取り組んでいる。</p>
事務局	<p>学齢期の児童については、学校教育課が住民票に基づいて調査を行い、入学までには漏れなく通知を行っている。</p> <p>また、昨年学齢に達しているが学校に通っていないブラジル人の子どもが判明したが、住民票をそのままにして帰国してしまったということで、調査を行いすべて確認することができた。</p>
議長	<p>議長は、保育園の運営状況について一同に諮ったところ、全員異議なくこれを了承した。</p>
事務局	<p>3～5) 土曜日保育の見直しについて・延長保育見直しについて・広域入所の見直しについて</p>

議長	<p>五味係長は、資料No.3に基づき、土曜日保育、延長保育、広域入所の見直しについて、それぞれの現状・課題・今後の方向性・事業の目的等を簡潔に説明した。</p> <p>また、土曜日保育の見直しについて、保護者アンケートを実施する予定であるため、アンケート内容について説明し、委員の方から意見を求めた。</p> <p>説明内容のほかに、保護者向けにアンケートを実施するという事なので、アンケート内容を主にご意見、ご質問をお願いしたい。</p>
委員	<p>問4では、回答の1と2はどちらも○をつけられる内容であるが、複数回答を可能とするのか。回答を1つに絞るとするならば、回答内容を変えた方がいいのではないか。</p>
事務局	<p>使い勝手はどうかという質問に対し、そのことに対する回答内容となっていないので、精査していきたい。</p>
委員	<p>土曜日保育の見直しということで、事務局は集中園方式にしていきたいと考えているのではないかと思うが、このアンケートによって、保護者が集中園でやってもいいと思わないのではないか。非効率という説明がなければ、保護者は現状で問題はないと思っている。アンケートを行う主旨の説明がなければ、理解を得られないのではないか。</p>
事務局	<p>土曜日保育については、非効率の観点だけではなく、利用している方はもっと充実して欲しいと思っている。使いたい方がきちんと利用できる方向で考えた場合、今のような中途半端なあり方であればいろんなところに影響がでてきている。現状では、1人のお子さんに対しても、保育士は2人態勢となるため、土曜日の出勤が多く必要となる。週休2日制が崩れてくると平日に代休を取る日が増え、平日の保育は担任以外の保育士が多く行うという態勢になってくる。また、未就園の会に来るお子さんをきちんと把握しその事業を充実していくには、予算も必要となる。より必要である事業にお金を回していくにはある程度事業の見直しの検討が必要となる。そのようなことを保護者の方に聞きたかったところである。</p>
事務局	<p>アンケートに、実施するねらいを入れていくということでよいか。今の内容だと、ねらいがあやふやになっているので、ご指摘があったとおり、アンケートを行う目的を明記していくということで考えていきたい。</p>
委員	<p>今の議論を聞いていると、問8の回答では、現在の土曜日保育は、現状で問題ないという回答項目はなくてもいいのではないか。改善していきたい方向であれば、改善点を出してそれについてどう思うかという聞き方がいいのではないか。</p>
事務局	<p>改善案を出し、それについて意見を聞くという方向に持っていきたい。</p>

委員	子どもが小さかった頃は、土曜日でも保育園に預けたかったが、出してはいけないという雰囲気だった。サービス業の場合は仕事があるため、保育園を利用したい。
事務局	保育園は保育を必要とするお子さんを預かる施設であるので、サービス業等で保育が必要なお子さんは遠慮なく利用していただきたい。
委員	入園当初は利用していたが、周りが土曜日は利用していなかったもので、人数も少なく、預けにくかった。
事務局	子どもが保育園に1人だけぽつんと居る状況は、子どもにとってどうかという事を考えたときに、大勢の子どもがいる中で一緒に遊ぶ方が、精神面でも落ち着くのではないかと考えている。
委員	集中園方式とした場合は、園を移動しても必要なので預けたい人が利用することになる。また、違う園に行くことは、子どもにとっていい刺激になるのではないか。
委員	土曜日保育は、現在の実施時間がそぐわないから預けていないということもあるのではないか。
委員	土曜日はどのような開園時間で保育を行っているのか。
事務局	現在は、正午までの園もあれば、午後1時、2時までの園もある。ちの保育園は午後6時30分まで行っている。
委員	土曜日でも平日と同じ時間で開所すれば利用する。半日しか開いていないから利用しづらいので預けないということもあるのかと思う。逆にサービスがちゃんとしていないから預けないということもあると思う。昔は小学校も土曜日は半日あったが、その名残りで保育園も土曜日は半日となっているのか。今は学校が週5日制となり、兄姉が土曜日自宅にいるので、保護者も休みを取る。保護者が自宅にいるので、保育園に預けることができなくなる。そのような背景も考える必要があるのではないか。また、日曜日に預けたい人もいると思う。日曜日に預けられる園も必要ではないか。土曜日保育の人数が少ないのは、何が原因か調べる必要があるのではないか。減らすばかりでなく、開園時間の長い園を作っていく等の態勢づくりも必要ではないかと思う。
委員	家庭で保育ができるならば、保育園に出す必要はない。兄姉が学校に通っていて、土曜日は学校が休みとなるため、一緒に家庭で過ごすならば、それはそれでいいと考える。
委員	土日に就労している保護者に対して、どのようなサービスを提供していくのか、就労の形態が多様化しているので、そのような面から見たときは

事務局	<p>もう少し利用者は増える可能性はあると思う。</p> <p>一昨年、子ども・子育て支援事業計画を策定する際に実施したアンケート調査の集計結果によると、土日の利用が必要であると回答した方は少ない結果となった。アンケート調査の結果を尊重していくのがいいのかと考えている。例えば、開園時間を長くすることを尋ねると、長い方がいいと答える方が多い結果となる。茅野市が大事にしたいことは、将来子どもが健やかに育っていくことである。そのためには、今便利なサービスをより多く提供することではないと考えている。委員さんおっしゃるとおり、土曜日に保育が必要な人はきちんと利用できる。家庭で保育が可能な場合は少し利用しづらい、そんなところを目指していきたい。</p>
事務局	<p>現在、ちの保育園の土曜日の開所時間は午後6時30分となっている。午後6時30分まで利用する方は、他園の方も土曜日はちの保育園に通ってもらっている。平成26年度の1回の平均利用人数は、3歳未満児は6人、3歳以上児は15人であった。土曜日保育を集中園方式としても、午後6時30分まで実施する園は1園あれば十分ニーズに答えられると見込んでいる。</p>
委員	<p>土曜日の利用をする場合、どのような理由で出すかということを知っているのか。</p>
事務局	<p>入所の申し込みにあたっては、利用状況を聞いているが、毎回厳格に聞いていることはしていない。</p>
委員	<p>利用理由を限定して利用していただくことはできるのか。</p>
事務局	<p>土曜日の就労証明書を求めている市町村もあるが、そこまで厳しいチェックをしている市町村の方が少ないことは確かである。今後どうするかということについては、アンケートの結果を見てからとなるが、土曜日を利用しない場合、保育料を少し割り引くやり方もあるので、費用対効果を見ながら適正な検討をしていかないといけないと思っている。</p>
委員	<p>集中園方式としたいもとなることは、コストを下げることだけではなく、以前松居和さんの講演の中で、親が子育てを放棄している、手厚い保育システムが実はよくないんだという話をされて、自分も納得をした。子育てをしていく、茅野市をもっと良くしていくことを考えると、家庭で見られる時は家庭の中で育てることも大事だと思う。地道に子育てを行うことが大事だという意識改革も必要で、講演会を開くことや、説明資料に入れることも大事なことかなあと感じた。</p>
委員	<p>今日の資料には、土曜日保育の利用実績が載っているが、保護者の方にもこの実態をアンケートの資料として見てもらうことは必要ではないか。この資料を見れば、保護者も効率が悪いことは納得するのではないか。ま</p>

委員	<p>た、見直しを行いたいのであれば、回答で今のままでいいという回答は必要ないと思う。経費の使い方についても、その他の子育て事業に回していくことについての考えを聞くこともいいのではないか。</p> <p>保育料もあまり細かくしすぎることは必要ないと思う。</p>
事務局	<p>保育料は平日のことについて聞いている項目だと思う。保育料についての質問は、土曜日を利用している人、利用していない人では180度違う内容となると思う。これを1つにまとめることに無理があるのではないか。</p>
委員	<p>アンケートの前半の内容は直接土曜日保育に関わる内容となっていない。保育全般の中での質問項目を入れ込んでいただけなので、アンケート全体が土曜日保育に特化した内容にした方がわかりやすいのであれば、全体を修正していくことも検討させていただきたい。</p>
議長	<p>その他はよろしいですか。色々なご意見が出ましたが、アンケートの主旨やねらいが伝わり、わかりやすくなるように内容を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>全体の保育行政の質問と、土曜日保育について、きちっと2つに分けて聞いた方が、答える側としてもわかりやすいので、修正していく。</p>
委員	<p>集中園方式を実施したいということであれば、反対であるという回答は入れない方がいいのではないか。</p>
議長	<p>たくさんご意見をいただいたので、出た意見を参考に内容の見直しを行うということで進めてもらいたいが、提出期限は7月30日となるのか。</p>
事務局	<p>提出期限は修正がきくところであるので、日程を充分にとって対応させていただく。</p>
事務局	<p>小林議長が、延長保育、広域入所に関する質問があるかと諮ったところ、一同全員異議なくこれを了承した。</p>
議長	<p>6) 茅野市公共施設総合管理計画に基づく、保育園管理計画の策定について</p> <p>松沢係長は資料No.4に基づき、保育園の建設計画に基づいた事業報告と、今後の保育園施設の整備計画の位置づけを簡潔に説明した。</p> <p>小林議長が、公共施設総合管理計画に基づく、保育園管理計画の策定について質問があるかと諮ったところ、一同全員異議なくこれを了承した。</p> <p>7) その他</p> <p>小林議長から、レジメの内容について、協議・説明事項については、資料ナンバーを明記してもらいたい要望があった。</p>

事務局（部長）

13 お礼あいさつ

本日は、新しく建て替えを行った、わかば、よこうち、宮川保育園の視察をしていただいた。

また、課題について、慎重審議していただき感謝申し上げます。いただいたご意見は、保育行政に反映させていただくので、今後ともよろしく願いしたい。

事務局（課長）

14 閉会

以上を持って、本日の会議日程のすべてを終了した。牛山課長は、午後8時30分に閉会を宣言した。